

くにさき 社協だより

No.75

令和7年1月20日発行



～地域福祉活動を支援し、支援が必要な人とともに歩む団体～

社会福祉法人 国東市社会福祉協議会

社協だよりには皆様よりお寄せいただいた赤い羽根共同募金の配分金が使われています



新年のご挨拶



国東市社会福祉協議会 会長 松井 督治

あけましておめでとうござ
います。

市民の皆さまには、健やか
に新春をお迎えのこととお慶
び申し上げます。

旧年中は国東市社会福祉協
議会の各種事業に對しまして、
温かいご支援とご協力を賜り
厚くお礼申し上げます。

昨年は台風10号による自然
災害が発生し、市内各地で多
くの方々が被災される事態と
なりました。これに對し本会
として、初めて「災害ボラン
ティアセンター」を立ち上げ、
多くのボランティアの皆さま、
地域住民、関係機関と連携し、
復旧・復興に向けた生活支援
活動を行うことができました。
この規模の災害対応は初めて

で、至らない点多々ありま
したが、皆さまの温かいご協
力により、本会の災害対応の
大きな一歩を踏み出せたこと
を心から感謝申し上げます。

しかし、災害はいつまた発
生するかもわかりません。今
回の経験を活かし、災害時に
迅速かつ的確に対応できる体
制の整備を行っていきたくと
考えています。

また、本年4月より国東市
における地域福祉の充実をさ
らに推進するため、「重層的支
援体制整備事業（受託事業）」
の取り組みを開始する予定で
す。この事業は、支援を必要
とする方々が抱える多様な課
題に、個別の対応だけでなく、
包括的かつ継続的な支援を提

供することを目指したもので
す。

具体的には、高齢者、障が
い者、子ども、ひとり親家庭、
そして災害時に支援が必要な
方々に對し、国東市と社協が
両輪となり、様々な関係機関
が連携し、一人ひとりの状況
に應じた最適な支援を行いま
す。また、平時から地域のつ
ながりを強化することで、災
害時や緊急時にも迅速な対応
が可能となる体制の構築を目
指しています。本年も、誰も
が安心して暮らせる地域社会
の構築を目指して、公的なサー
ビスだけでは解決できない困
りごとや課題に對して、幅広
く事業を展開してまいります
ので、より一層のご理解とご
協力を賜りますようお願い申
上げます。

結びに、皆さま方にとって、
本年が素晴らしい年となりま
すよう、心から祈念申し上げ、
新年のご挨拶と致します。

国東市社会福祉協議会常務理事就任のご挨拶



小田美一常務理事

令和6年11月1日より、
国東市社会福祉協議会の常
務理事に就任しました。

市役所退職前、6年間に
わたり社協職員の間々さん
とともに仕事を行ってきました。
非日常的な生活が続いた
たコロナ禍により、従来の
仕事思うようにできない
中、微力ですが市民の皆
様の福祉の向上を目指して連
携・協力を行ってきたつも
りです。

新たに社協の常務理事と
して、地域における多様な
生活課題に對する生活支援
サービスや福祉活動を社協
職員とともに開発・実践し
ていきたいと考えていま
す。また、行政との調整役
としての役割を担っていき
たいと思います。

市民の皆様が安心して暮
らせる福祉のまちづくりを
推進してまいりますので、
ご理解とご協力、ご支援を
賜りますようお願いを申し
上げ、就任のあいさつとい
たします。

住民座談会 話そう会(え)開催

令和6年10月19日(土)武蔵・安岐

26日(土)国東・国見開催

国東市社会福祉協議会では第4期地域福祉活動計画の策定にあたり、「市民の皆様の声を聞く」大きな機会として住民座談会「話そう会(え)」を開催しました。

座談会では市内4会場に分け(国見・国東・武蔵・安岐)、グループワークを通じて、「どんな地域にしたいか」と「そのためにはどんなシゲン(人・事・物)が必要か」について話し合いながら、自分で出来る事・お互い(地域)で出来る事・公的なサポートが必要な事に分けてその地区ごとの課題を把握していきました。

地域の方々と一緒になって改めて自分の住む地域について考え、意見を出し合う中で、身近な資源の再発見を行うことができました。

また、見えてきた課題としては世代や地域を超えた人と人、人と資源、団体と団体などの「つながりや横連携」が大事で、そのためにも「日頃からの付き合いや交流が必要、場所の整備、情報の発信・共有方法の整備」などがあげられました。

皆さまのご意見を基に第4期地域福祉活動計画を実行性あるものとして策定してまいります。

ご参加いただきました99名の皆さま、貴重なご意見をお聞かせいただき、誠にありがとうございました。



地域共生社会に向けた地域づくりフォーラム開催

令和6年11月6日(水)、アストくにさきで地域共生社会に向けた地域づくりフォーラムを開催し、125名の方に聴講いただきました。国東市では令和7年度より重層的支援体制整備事業が始まります。重層的支援体制整備事業は高齢・障がい・子ども・困窮などの分野を問わず相談から参加支援、地域づくりを一体的に行う事業で、地域共生社会へ向けた市全体での仕組みづくりです。

フォーラムでは講師に厚生労働省社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室支援推進官の犬丸智則氏をお招きし、「地域共生社会の実現に向けて～みんなが幸せな社会～」という演題でご講演いただきました。誰にとっても暮らしやすいまちは、まちの持続性を支えることにつながるとし、地域の方が相互に尊重し合い参加する地域社会の実現を目指す取組み事例を多く教えていただきました。

課題や必要性だけでなく、参加への敷居を下げる「きっかけ」を大切とし、「興味関心をきっかけに参加できる「楽しさ」」、「生活の中の「ふつう」のことをきっかけに参加できる「日常性」」に着目するよつという話には、参加者の方からも「そついったところからでいいんだ」実務者の方からは「これまでの取組みが間違っていなかったと思えた」との感想をいただきました。

午後からは行政・社協向けにもご講義いただき、重層的支援体制整備事業への共通理解を図ることができました。



上国崎地区社会福祉協議会「あらたに会」 によるフットパスイベント開催



令和6年11月10日(日)、上国崎地区社会福祉協議会「あらたに会」によるフットパスイベントが開催されました。

毎年、上国崎の4地区(成仏・下成仏・見地・中田)が順番で担当しており、今年は成仏地区で開催されました。成仏寺や五輪塔群を巡った後、雄渡牟礼山と岩陰遺跡光のアートを巡る2つのコースに分かれ、地区内外・地域スタッフを含め、計71名が参加し、それぞれ楽しみました。

中には、賑わっているところを見て、通りすがりの方の参加もありました。

また、あらたに会が県の補助を受け、地域おこしの一環として、ガチャの取り組みを行いました。野菜とお菓子の2種類のガチャを設置して、子どもから大人まで多世代の方が楽しむ様子があり、中でも野菜ガチャが好評でした。

今後も、地域のイベントで活用していくので、これを機に地域の活動に興味を持ってくださる方がいると嬉しいですね。

武溪保育所の園児が 武溪の会を訪問しました♪

令和6年11月22日(金)、武蔵町の武溪保育所の園児が武溪の会を訪れ、交流会をしました。

昨年度、武溪の会の方々が手作りのお手玉を武溪保育所にプレゼントし、今回はその時のお手玉を持って園児が遊びに来ました。

園児が一生懸命お手玉で遊ぶ姿に笑みがこぼれ、終始にこやかでほっこりとした時間が過ぎました。

今後も繋がりを持ってお互いに行き来できる関係性であると良いですね。



令和6年度 第2回くにさき地域応援協議会 寄ろう会(え) 開催



令和6年11月22日(金)、国東市役所でくにさき地域応援協議会が令和6年度第2回くにさき地域応援協議会寄ろう会(え)を開催しました。

今回は令和6年度の上半期における伊美・西安岐、西武蔵の経過報告や進捗状況が主な議事内容でした。

グループワークでは、お互いの困りごとを話したり、他からの助言をもらったりしながら、事業の見直しや改善点を見い出すきっかけとなりました。

とても意欲的な意見がたくさん出ていました。

■活動に関するお問合せは下記へ

国東市社会福祉協議会 福祉支援課
☎ 0978-64-7100
国東市役所福祉課高齢者支援係
☎ 0978-72-5164



■活動に関する情報は

共通WEBサイト「国東つながる暮らし」
ご覧ください
ホームページはこちら▶



令和6年度 くにさき福祉のつどい

令和6年10月25日(金)武蔵町中央公民館武蔵セントラルホールで令和6年度くにさき福祉のつどいを開催しました。

コロナ禍で令和2年度から式典のみの開催としていましたが、今年度は講演や出張カフェ、災害ボランティア活動報告を取り入れ、「笑顔で暮らすために」みんなで作ろうという支え合う地域」を大会テーマとして開催しました。

表彰行事では、国東市で社会福祉の発展に功績のあつた方々へ顕彰を行いました。

次に大分県消費生活・男女共同参画プラザによる寸劇「悪徳商法の手口教えます」を披露していただき4パターンの悪徳商法を分かりやすく紹介していただきました。

続いて国東町今在家区で地域支え合い活動をされている援助イ今在家の代表日吉屋源治様より活動報告をしていただきました。カフェの様子や多世代交流など、地域の繋がりの大切さを身近に感じる事ができました。

最後は日吉屋一座による歌謡ショーで会に華を添えていただきました。

ロビーでは武蔵町武溪の会の方々が出張カフェを出店し、来場された方々は美味しいコーヒーを飲んでホッと一息ついていました。多くの方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。



《国東市社会福祉協議会会長表彰》

- 民生委員児童委員特別功労者
- 峯榮揮・麻生淑子・長木博子・舛永恵子
- 清原正義・吉田敬子・非掲載希望者1名
- 社会福祉事業関係功労者
- 武部洋史・畑克明・照山俊一・橋永雄治
- 模範介護者
- 佐伯綾子

《国東市社会福祉協議会会長感謝状》

- 社会福祉事業奉仕団体
- あすきの会
- くにさき見守り隊「わんわんパトロール」
- 松原百円カフェYou・一村一心の会(豊崎)
- くにさき女性塾・大添助け合いの会
- 社会福祉事業協力者
- 吉岡祐一・美登浩之・松原弥栄・坂本重喜
- 河野昭郎・宮崎清人・非掲載希望者2名

《国東市老人クラブ連合会会長表彰》

- 優良老人クラブ
- 下岐部老人クラブ(白浜会)
- 来浦老人クラブ・浜陰老人クラブ
- 糸原上老人クラブ
- 山口老人クラブ・中野老人クラブ
- 老人クラブ功労者
- 清原正義・山本泰光
- 老人クラブ功労者
- 相部秀彦・仲村郁子

※敬称略

令和6年度 第19回大分県地域福祉推進大会

県知事表彰を受賞したホームヘルパー3名が国東市長へ報告しました。



歓談の中で「この仕事をやっているよかったですか」という市長からの問いかけに森重さん、井手さん、一丸さんは「ありがとうございます、利用者さんが心を開いてくれると嬉しいから続けられます」と話していました。

※写真左より一丸タケ子さん、森重アヤ子さん、井手玉恵さん

令和6年10月16日(水)大分市のiichiko総合文化センターiichiko音の泉ホールで第19回大分県地域福祉推進大会が開催されました。

多年にわたり社会福祉の向上に尽くされた方々への式典で、国東市からも多くの方々や団体が受賞し表彰を受けました。

《大分県知事表彰》

- ホームヘルパー
- 森重アヤ子・井手玉恵・一丸タケ子

《大分県知事賞》

- 優秀老人クラブ賞
- 富来浦手老人クラブ
- 老人クラブ指導者功労賞
- 岐部美年

《大分県社会福祉協議会会長感謝状》

- 社会福祉事業関係功労者
- 武部洋史・畑克明・照山俊一
- ボランティア功労者・功労団体
- 竹田津くらしのサポートセンター「かもめ」

《大分県老人クラブ連合会会長表彰》

- 老人クラブ功労者
- 河野敏夫・小深田達・高森圓次
- 優良老人クラブ
- 今市老人クラブ
- 高原老人クラブ

※敬称略

フードドライブで多くの食品の寄贈がありました

今回寄せられた食品は生活にお困りの方やフードパントリーに利用させていただきます。沢山のご寄付をいただき、大変ありがとうございました。

いただいた食品は国東市内で活用させていただきます。

浄土真宗本願寺派 国東中組 仏教壮年会様

令和6年10月11日（金）浄土真宗本願寺派国東中組仏教壮年会の方々がフードバンクで寄せられた食品を国東市社協に寄付してくださいました。

豊後高田市の一部と国東市の一部の地域で会を運営しており、浄土真宗のお布施という意味の“ダーナ”、相手に施す活動の一環として毎年一回檀家さんやお寺に寄せられた食品をフードバンクとして豊後高田市、国東市に交互に寄付されています。



大分銀行様

大分銀行では毎年11月中旬に県内一斉でフードドライブを実施しています。

大分銀行の各支店で集められた食品を地域に還元したいという意向から市町村社協へ寄贈していただいております。

国東市内の大分銀行各支店でも11月18日（月）から19日（火）まで実施され、令和6年11月21日（木）に国東市社協へ寄贈してくださいました。



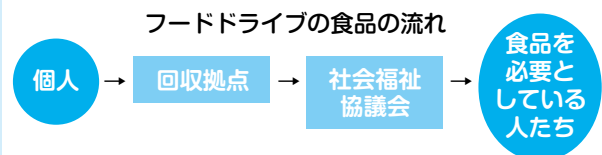
T-1イベントにて

令和6年10月12日（土）に開催した食の祭典「T-1イベント」にSDGsの取組みとしてフードドライブを実施しました。

晴天の賑やかなイベントの中、食品を持ってきてくださったみなさま、ご協力誠にありがとうございました。

フードドライブとは

個人が食品を寄付する運動あるいは取組みのこと



食料を配布いたします♪フードパントリー実施中！

国東市社会福祉協議会では、フードパントリーを定期的実施しています。

地域の方々の善意で集まった食料品等を対象の方々へ無料提供することで、生活の負担を少しでも軽減する事を目的とし、この活動を通じて、地域の実情を把握し、今後支援が必要な方の情報を集める場としても活用するとともに、食品ロスの削減の活動に取り組みます。

フードパントリーは来年度も順次社協各支所で開催予定です。



次回開催

- 日 時：令和7年3月5日（水）
10：00～12：00
- 場 所：国東市社会福祉協議会
国見支所
(国見保健福祉センター内)
- 対象者：国東市在住の子育て世帯、
ひとり親家庭、経済的に
困っているの方々、アンケート
に回答してくれる方

善意の気持ちをありがとうございました

国東市社会福祉協議会へ次の方々から心温まるご寄付をいただきました。皆様のご厚情に対しまして厚くお礼申し上げます。故人のご冥福をお祈り申し上げます。(掲載に同意された方のみご紹介しております。)

受付期間：令和6年9月1日～令和6年11月30日

香典返し寄付

(地区)	(寄付者名)	(故人名)	(金額)	
国見町	荒巻 和美 様(故 精文 様)	金一封		
	國廣 正喜 様(故 治子 様)	金一封		
	藤原 洋三 様(故 土谷 繁文 様)	金一封		
	山際 義和 様(故 光子 様)	金一封		
	益田 孝光 様(故 八重子 様)	金一封		
	福田八重子 様(故 吉秀 様)	金一封		
	上野 浩一 様(故 時哉 様)	金一封		
	道重 英則 様(故 マサ子 様)	金一封		
	吉用 弘美 様(故 大谷 日月 様)	金一封		
	河井 稔 様(故 徳喜様)	30,000 円		
	国東町	山田 弘司 様(故 律子 様)	金一封	
		小川 文彦 様(故 ハル工 様)	金一封	
		山本 洋一 様(故 静子 様)	金一封	
		財前 繁 様(故 市岡ヤス工 様)	金一封	
		山本 成彦 様(故 ミチ子 様)	金一封	
福田 周三 様(故 洋子 様)		金一封		
友成 哲郎 様(故 美智子 様)		金一封		
田代 英幸 様(故 光男 様)		金一封		
橋永久美子 様(故 千歳 様)		金一封		
中野由喜美 様(故 輝子 様)		30,000 円		
板林 昭洋 様(故 芳子 様)		金一封		
栗林 研治 様(故 稔 様)		100,000 円		
竹下はるの 様(故 正人 様)		金一封		
高木 勇人 様(故 和子 様)		金一封		
武蔵町		山下 政士 様(故 妙子 様)	金一封	
	鹿嶋 真美 様(故 信雪 様)	金一封		
	一丸 政春 様(故 鎮雄 様)	金一封		
	清末 健一 様(故 鎮子 様)	金一封		
	末綱 晴士 様(故 テル子 様)	金一封		
	佐藤 芳秀 様(故 秀一 様)	金一封		
	平塚 清和 様(故 ヤス子 様)	金一封		
	立石 邦俊 様(故 房 様)	金一封		
	古川 堤次 様(故 姿子 様)	金一封		

(地区)	(寄付者名)	(故人名)	(金額)
安岐町	舩永 正喜 様(故 佐藤スナ子 様)	金一封	
	森 重利 様(故 悦子 様)	金一封	
	吉武 敏枝 様(故 哲美 様)	金一封	
	瀧口 恭仁 様(故 妙子 様)	金一封	
	矢野すみ子 様(故 幸子 様)	金一封	
	藤本 信幸 様(故 スズ工 様)	金一封	
	小川キミヨ 様(故 孝一 様)	金一封	
	淵上 豊子 様(故 光治 様)	金一封	
	手嶋 賢司 様(故 トヨ子 様)	金一封	
	坪井 勝彦 様(故 チガコ 様)	金一封	
	清原 文生 様(故 忠己 様)	金一封	
	徳部 敬治 様(故 傳造 様)	金一封	

一般寄付

(地区)	(寄付者名)	(金額)
安岐町	岩崎 博 様	50,000 円

物品寄付

(地区)	(寄付者名)	(物品)	(金額)
武蔵町	匿名 様	玄 米	30kg
	糸永 シマコ 様	お 米	60kg

台風10号国東市内 災害支援金をいただきました



国東市商工会青年部安岐支部様



国東市観光協会様

歳末たすけあい運動へのご協力ありがとうございました

今年度も多くの皆さまにご協力いただき、たくさんの募金が集まりました。

集まった募金は大切に使用させていただきます。誠にありがとうございました。



武蔵町仏教会様

お知らせ

国東市社会福祉協議会への寄付は税額控除の対象となります
(税額控除対象寄付金-2,000円)×40%=控除対象額(所得税額から控除)

※但し、控除額は所得税額の25%が限度となります。

※税額控除対象寄付金とは、税額控除対象法人への寄付金額です。(本会は税額控除対象法人です)

※寄付金支出額が、総所得金額等の40%に相当する金額を超える場合には、40%に相当する額が税額控除対象寄付金となります。

社協にお寄せいただく寄付金は地域福祉事業の財源となります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

安岐中央小学校6年生 福祉体験学習の取組み

白熱!!
風船リレー



こどもたちの
歌声に感動



みんなで
ピース♪



プレゼント



一期一会

令和6年11月14日(木)安岐中央小学校6年生29名が特別養護老人ホーム鈴鳴荘のデイサービス利用者との交流のため、施設を訪問しました。

顔合わせの場では両者とも緊張の面持ちでしたが、施設長の挨拶、利用者のお話を聞いた後、ゲームを楽しみました。

ゲームは赤白チームに分かれて風船リレー対決。お年寄りの間に児童が加わり、自己紹介をしておしゃべりが弾みだし、お互いの距離がどんどん縮まってきました。

風船を上手に渡すにはどうしたらよいかなど、相手の事を考えながらプレーする児童もいて、やさしさの芽がいくつも出ていました。

交流会の最後に児童からの歌の発表があり、感激のあまり涙される利用者の方も。さらに折り紙付きのお手紙とプラントナーに植えたお花をプレゼントしました。お手紙を児童から利用者へ手渡すと溢れんばかりの笑顔がこぼれ、終始和やかな雰囲気でした。

利用者とお別れをした後、児童たちは6グループに分かれ、今日の振り返りをしました。良かったところ、嬉しかったところ、どんなことに気が付いたのか、話し合ったことをみんなの前で発表して学習を終えました。

ここで学んだ事を今後にも活かしていただけたら幸いです。

国東市内金融機関・地域包括支援センター・社会福祉協議会連携研修会

- ・通帳を何度も再発行する。
- ・年金月を何度も間違える。
- など認知症等が疑わしい方の対応についてのモヤモヤや情報交換を行いました。



認知症高齢者等にとって、後見制度の必要性の有無などの相談は成年後見センターなどへご相談ください。アンケートでは、制度の相談先として、家庭裁判所が多いですが、裁判所は制度の事務手続きは教えてくれますが、制度の必要性についてのアドバイス等は、基本的に行っておりません。



令和6年10月7日(月)アストくにさきで国東市成年後見センター「ほっとかない」が国東市内金融機関・地域包括支援センター・社会福祉協議会連携研修会を開催しました。

この研修会は、金融機関、地域包括、社協が連携をすることによって、認知症高齢者等の早期発見や成年後見制度等へのより良いつなぎを行うための取組みです。今回が第1回の取組みとなるので、まずはお互いの役割を知ることから始めました。またグループワークを通じて、個人情報壁など情報共有の大切さと、難しさに対する意見交換ができました。

短い時間ではありましたが、良い時間を共有することができました。今後とも続けていきたいと思えます。

《お問い合わせ先》

国東市成年後見センター「ほっとかない」
(国東市社会福祉協議会 総務福祉課 地域共生係)

住所：国東市武蔵町古市 1086 番地 1
電話：0978-68-1976 FAX：0978-68-1677
Mail：kouken.kunisaki@kunisaki-wel.or.jp

社会福祉法人 国東市社会福祉協議会

お問い合わせ先

- 本 所 国東市武蔵町古市 1086-1 (武蔵保健福祉センター内) (総務福祉課) ☎68-1976
- 国見支所 国東市国見町伊美 2225-1 (国見保健福祉センター内) ☎82-1107
- 国東支所 国東市国東町浜崎 2757-5 (国東福祉センター内) ☎74-1151
(在宅福祉課) ☎74-1234
- 安岐支所 国東市安岐町中園 100 (安岐総合支所内) ☎67-1283
(福祉支援課) ☎64-7100

社協の詳しい情報は
ホームページへアクセス

